

令和 2 年 度

八代市議会文教福祉委員会記録

審 査 ・ 調 査 案 件

1. 八代市議会災害対策会議における部会活動について ……	1
1. 現地視察の場所及び日程について ……………	5
1. その他 ……………	6

令和 2 年 1 0 月 1 2 日 (月曜日)

文教福祉委員会会議録

令和2年10月12日 月曜日

午前10時00分開議

午前10時41分閉議（実時間23分）

○本日の会議に付した案件

1. 八代市議会災害対策会議における部会活動について

- (1) 部会活動方針の報告
- (2) 調査事項

1. 現地視察の場所及び日程について

1. その他

○本日の会議に出席した者

委員長 西 濱 和 博 君
副委員長 村 山 俊 臣 君
委員 亀 田 英 雄 君
委員 古 嶋 津 義 君
委員 前 川 祥 子 君
委員 村 上 光 則 君
委員 百 田 隆 君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

君

○記録担当書記 村 上 政 資 君

（午前10時00分 開会）

○委員長（西濱和博君） 皆様、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）定刻となり、定足数に達しておりますので、ただいまから八代市議会災害対策会議にお

ける文教福祉委員会を開会いたします。

◎八代市議会災害対策会議における部会活動について

○委員長（西濱和博君） まず、9月30日の本委員会において、今後の部会活動方針等について御協議をいただいたところでございます。

去る10月5日に開催されました八代市議会災害対策会議における各部会正副委員長合同会議の中で、各委員からの御意見等を踏まえ、私から正副議長に当部会の活動方針等を報告させていただくとともに、各部会間において情報共有させていただきました。

以上の点を踏まえ、最終的に正副委員長の協議の上、活動方針を決定させていただきましたことを、まずもって御報告させていただきます。

そこで、本日はレジュメ記載のとおり、1、八代市議会災害対策会議における部会活動についての（1）部会の活動方針の報告についてを御説明させていただきたいと思っております。

別紙の当部会における意見及び活動方針の資料を御覧ください。A4の横長の表そくでございます。これに基づいて概要の御説明に入らせていただきます。

文教福祉委員会、さきの9月30日に開催いたしましたして、皆様方から様々な御意見をいただいたところでございます。

（1）の各部会調査事項の項目につきましては、所管する事務調査、すなわち教育に関する諸問題の調査、そして、保健・福祉に関する諸問題の調査を範疇として御意見を賜ったところでございます。

表そくの中ほどにある黒丸の御意見等をいただいたところでございます。その他意見の中には、当委員会だけでなく、ほかの委員会に関連することも含まれておりました。

そのようなことを踏まえて、活動方針を調整

してまいったところでございます。

表そくの右ほどにあります活動方針の下の欄を御覧いただきたいと思います。

皆様から御意見を賜った中から合同部会で調整し、当委員会としましては2点、当面の取組の項目として、まず小中学校の再開に向けた支援について、それから被災者の生活再建支援について、この2点を調査してまいりたいというふうに考えております。

以上、ただいま御説明いたしましたとおり、当部会の各調査項目については、日常に欠かすことのできない小中学校の再開支援及び被災者の生活再建の支援を目的として、調査を進めてまいりたいと思いますので、御協力方よろしくお願いいたします。

次に、レジュメの(2)調査項目でございますが、当部会では小中学校の再開支援について及び被災者の生活再建の支援についての2つの調査事項に沿って活動していくこととなります。

そこで、調査を効率的に進めるために事前に委員の皆様から御意見を聴取したいと思えます。

まずは、小中学校の再開支援についてどのような視点及び項目を調査していきましょうか。

ただいまから御意見をいただきたいと思えます。意見がありましたらお願いいたします。

○委員(亀田英雄君) 小中学校の再開ということですね。まず、現状がどういようになっているのかを知る必要があらせんかと思えますね。学校の先生たちがどう考えているのか、あと、保護者の意向を調査せんでもよかつたらうかと。あと、簡単に再開してってということも、実際、道路の関係で、スクールバスの運行もなかなか難しいでしょうけん、その辺の調査もせんちゃよかつたらうかと。向こうの実態ですね。

今、子供たちがどげん体調があるのか、心理

状態なのかということもせんばならんたらうし、先生たちの業務はどげんなとつとかなというよな心配もいたします。

○委員長(西濱和博君) ありがとうございますました。

ほかに委員から御意見等ございませんでしょか。

○委員(前川祥子君) 今の御意見で、現状ということで、まずその調査は必要かと思えます。それと、少し早いかもしれせんが、その後の、学校をどんなふうに、子供たちをどういようふうにまた教育していくかと。どんな場所であとか、そういう先のことも考えていらっしやるんじやないかなというふうに思えますので、先の話というか、そういうこともお聞きしたいと思えます。

○委員長(西濱和博君) ありがとうございますました。

ほかに御意見等ございませんでしょか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(西濱和博君) ここで一旦小会いたします。

(午前10時07分 小会)

(午前10時15分 本会)

○委員長(西濱和博君) それでは、本会に戻します。

小中学校の再開支援についてでございますが、ほかに意見等ございませんでしょか。

○委員(亀田英雄君) 学校の再開に向けてですね、いろんな課題があるかと思えます。現地視察などもしながら、その中でいろんな課題をまたさらに議論しながら、話を聞きながら、課題をです、見つけていく作業が必要じやないかということをお思えます。

○委員長(西濱和博君) ほかに委員から御意見等ございませんでしょか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（西濱和博君） それでは、今、委員から御提案がございましたが、まずは小中学校の再開支援に向けては、現状・課題の抽出が必要だという視点で現地視察と関係者からの意見を聴取することなどから手がけていきたいというふうに思いますが、そのようにまとめさせていただいてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西濱和博君） では、そのように進めてまいります。

次に、2点目でございます。被災者の生活再建の支援について、どのような視点及び項目を調査していきましょうか。これにつきましても、各委員から御意見を賜りたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員（亀田英雄君） 先ほども申しました保育園の課題もあるかと思えます。保育園の現状とですね、今後の方針とか。これについても保護者の意向とかを。子供の心理面のケアとかですね。小学校と同じような考え方で。そしてあと、運営の状況なども知っておく必要があらせんどかというようなことも思えます。

あと、そのほかにということですので、医療、——文教福祉では医療ということは外せないかなということも思えます。2つの病院があったのですが、2つの病院とも被災しまして、現状はどうなっているのかということも調査の必要があらせんだろうかと。

今、無医地区という現状があります。そこで、医療の確保ということについて行政の考え方とか、あとですね、救急体制はどうなっているのかということも調査しておく必要があらせんだろうかと。医療についてはいろんな項目がまだあるかと思えますので、御意見をいただければというふうに思えます。

あと福祉面についてですけど、——続けてよろしいでしょうか。

○委員長（西濱和博君） どうぞ。

○委員（亀田英雄君） 長期的にですね、避難している、——家は無事なんですけど、道路のアクセスができなくて長期的に避難している世帯があります。そこは、罹災証明なんかも出なくてですね、様々な支援も受けられるのかなという現状があると。これについて、手当てしていかんばいかんぢやなかろうかというふうなことも考えています。

あと、公民館がですね、3分の1の公民館がなくなっておるという現状があります。地域コミュニティの確保をどうするべきかと。

そしてあとですね、いろんな話を聞きます。市民のストレスとか、役所に寄せられた悩み、課題とか、そげんともやっぱり調査する必要があるとかなということも思えます。

あと、コロナの禍の中で避難所が運営されたんですが、その課題なんかも一応知っておく必要が、——いつ何があるかもしれないけんね、その辺の課題の認識というのもせんぢやよかつたろうかなと。避難所の課題ですね。

あと、避難所から出てどげされるのかというような情報を捕まえているのかということも思えますし、それから先のいろんな悩みとかですね、仮設住宅の悩みとか、そげんとも調査の必要があらせんとかなということも思えます。

あと、今、高速道路が使われとつとですが、高速道路はいつまで使われるとつとかなというような話もよく聞く話です。

あと見舞金・義援金。今度、市のほうで10万円ですかね、なされたんですが、あとほかに義援金とかいろいろあったと思えます。その辺の支払いはどげなつとつとかなということもあります。

あと、復興の現状ばどこまで、どこまで、——どこまで話ばしてよかつた分からんとですが、独り暮らしなんかで片づけが進んでいない世帯なんかもまだあつとぢやなかろうかなと。その辺ば、やっぱ後押ししてやる必要のあらせ

んどかなということも思います。

あとはですね、アンケート、聞き取り調査ば今しよんなつとですよ。その結果もちよっと聞きたいですねということも思いました。どこへ報告があつとかは後でよかつですけど。

以上です、思いつくところはですね。復興計画の基本理念もだっだんですけど、今、お聞きしましたので、その程度です。

○委員長（西濱和博君） ほかに、委員の皆さんから御意見等ございませんでしょうか。

○委員（村上光則君） 今、亀田委員が何もかんも言ったばつてんが。その義援金の支援をですね、やっぱし、どやんかしてやらんばいかんとやないかなと、それが一番じゃなからうかなと思うとですよ。調査もせんといかんとだらうばつてん。早く支援をするようにやっていかんとやなからうかと思ひます。それが一番の、声を聞けば悩みのような話でありますから、早急に進めていければと思ひます。

○委員長（西濱和博君） ほかに御意見ございませんでしょうか。

○委員（前川祥子君） 今、委員さんのお話でもやはりありましたように、医療の現状、それから福祉施設、公民館とか、その他の避難所のことですね、それから仮設住宅の問題とか。そういうあらゆる問題に関しては、やはり坂本の住民の方々が皆さんそれぞれの悩みとか希望とか困っていることがあられるので、全てがそれぞれ同じ思ひば持つてらっしゃるとは思ひませんが、やはりこういうことを、——多分ですよ、その関係の、例えば医療関係、それから施設関係、見舞金にしてもそれぞれの所管が違ふかと思ひますよ。そういうことをまとめてらっしゃるところの部署があれば、そのまとめられているペーパーでもいいですので、そういうものが、一応私たちの目にも触れるようなものをいただければいいかなと思ひます。

一番は、その現場に行ってそれぞれの坂本の

住民の方々に何うことが一番いいんでしょうが、全ての住民の方にお会いできることもなく、全てを把握することもなかなか時間も要ることで、難しいので、そういったことができればなというふうにも思ひます。

○委員（百田 隆君） 亀田委員とずっと話し合つて、いろいろ問題点が出とるわけですけど、その問題点ばですね、喫緊の急ぐやつということを抽出するつていうような方法を持つていってですね、それを一番最初に解決しなきゃならんというような課題を見つけ出して、それに対応するようやり方を、執行部との話合ひばしたらどやんだらうかなというふうに思ひしております。前川委員さんも、そやんいうたふうな言い方をされたですけん、やっぱりそれが一番大事なことと私は思つとります。

○委員長（西濱和博君） ほかに御意見ございませんでしょうか。

○委員（亀田英雄君） もう一つよかですか。

今、生活再建支援つていうことは、もう間口の広か話と思ひとですよ。だけん、さしより急ぐ話ばして、後で追加提案のあれば追加提案で取り組むような格好で。急ぐことから先にする、——あとは委員長、副委員長の判断でよかかと思ひますが、して、あとはいろんな提案もまた重ねながら進めていかればなと。

ここの調査を進める中で、またさっきの話と一緒に、いろんな課題がまた見つかつてくるでしょうし、そのような取組をしていただければなというふうなことも思ひます。

○委員長（西濱和博君） ほかに御意見ございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西濱和博君） 小会します。

（午前10時25分 小会）

（午前10時31分 本会）

○委員長（西濱和博君） それでは、本会に戻

します。

その他、御意見ございませんでしょうか。

○委員（前川祥子君） 部会の中の復興ボランティアセンターの視察についてという項目がありますが、このところの内容というものを少し委員長のほうから説明いただければと思います。

○委員長（西濱和博君） 今、復興ボランティアセンターの件で御意見がございました。私のほうから少しこの施設について触れさせていたいただきたいと思います。

復興ボランティアセンターにつきましては、9月23日にこれまでの災害ボランティアセンター、西宮町に設置してございましたが、23日に坂本町の荒瀬に——地域福祉センターでございすけれども、この施設内に開設されて、今、運用をなさっているところでございます。

支援の内容につきましては、主に被災者宅へのボランティアによる支援の手だて。それから、住民あるいは被災者からの御相談の内容。御相談の内容によっては関係機関におつなぎされる。あるいは、貸付け等の制度の御案内など様々なお取組をなさっていらっしゃるというふうに承知しております。

したがって、住民から様々な御相談、悩みごとが届けられているというところもあるかと思っておりますので、さきに配付しております資料の中にもございますけれども、住民の皆様の切実な声をお聞きするという手法の1つとして、社会福祉協議会が運営されているこの復興ボランティアセンターというのが、私たちも課題の聴取あたりをするのに有効かなというふうに思うところでございます。以上です。

ほかに意見等ございませんでしょうか。

○委員（前川祥子君） それでは、被災者の生活再建支援ということですので、その復興ボランティアセンターの中に住民からの様々な悩みやいろいろな御相談が寄せられていると

いうことですので、その場に行ってお話を伺えば、住民の方々の急ぐこと、もしくはと言いますか、緊急事態、緊急のことですね、そういうことがお話を伺え、私たちも、それを今後の課題として考えていくことができますので、まずもってその復興ボランティアセンターのほうへの視察が緊急な課題じゃないかなというふうにも思います。

○委員長（西濱和博君） この件に関しては、ほかに委員から御意見等ございませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西濱和博君） それでは、ただいまの議論を踏まえまして、2点目のテーマであります被災者の生活再建の支援については、まずは住民の声が寄せられていると考えられる坂本町荒瀬に設置してある復興ボランティアセンターを視察し、様々な課題抽出に向けた取組をするというふうにしたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（西濱和博君） 御異議なしと認め、そのように取りまとめさせていただきます。

◎現地視察の場所及び日程について

○委員長（西濱和博君） それでは、現地視察の場所及び日程についてですが、さきの委員会で現地視察については実施するという御意見でございましたので、視察場所といたしましては、今回は、本日の、これまでの御意見を踏まえ、日奈久小中学校、そして復興ボランティアセンターについて調査を行いたいと思います。

また、現地の八竜小学校及び坂本中学校については、学校までの交通状況を確認するためにも、実際に現地についても確認したいと思っておりますので、御了承いただきたいと思っております。

本件について、御意見等ほかにございませんでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(西濱和博君) ないようですので、次に現地視察の日程について御協議いただきたいと思ひます。

小会いたします。

(午前10時35分 小会)

(午前10時39分 本会)

○委員長(西濱和博君) 本会に戻します。

それでは、次の部会の日程について協議したいと思ひます。次の部会は、10月19日、月曜日9時30分より開会いたしますので、よろしくお願ひいたします。

◎その他

○委員長(西濱和博君) 次に、その他について、何かございませんでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(西濱和博君) ないようですので、当部会の活動に当たり、執行部に対しては、BCP継続中のため、原則、執行部の会議の同席については行わないこととされております。しかしながら、現地視察に当たっては執行部の同行も必要になる場合も考えられます。その際は、最少人数での同行となることもありますので、御承知お願ひします。

以上で、本日の部会の日程は全部終了いたしました。これをもって文教福祉委員会を散会いたします。

(午前10時41分 閉会)

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定により署名する。

令和2年10月12日

文教福祉委員会

委員長